

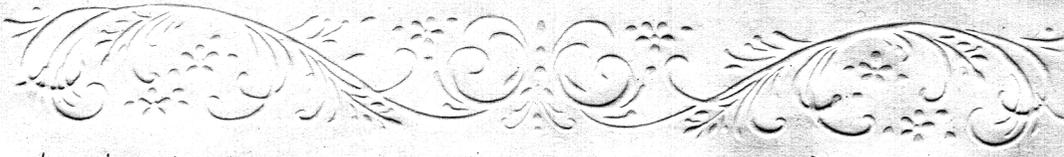


1770045

立
井
三
幸
様

東京都
練馬区
石神井台

八
一
二
〇
一
三
一



梓綾 漸く松うらぐまつたと思ふと、もう冬が目の
前という 威もある日々とぞりまゝにたが、まきまき

ご清栄のことと 存じまゝ。このたびは卒業後五十二年、
古稀社会ということで、書状 まらむに 記念切手やわた

杵受、有難くお礼申し上げまゝ、この二年は、いつ
りしたか 新校長と同期会が開かれた際、出席した

記憶が ありまゝ、大いに賑わいを見せた集りだったと思
います。 ほぼ毎年同期の集まりがあらうなということも

今後も まるまゝの 会の発展を祈るまゝ。
二のたびの記念切手は出したアイディアで、お守りし

ものの中、記念として保存したいと思ひまゝ。使用するには
命保をいという丸をえしおあり。 其お古紙の筆跡はな

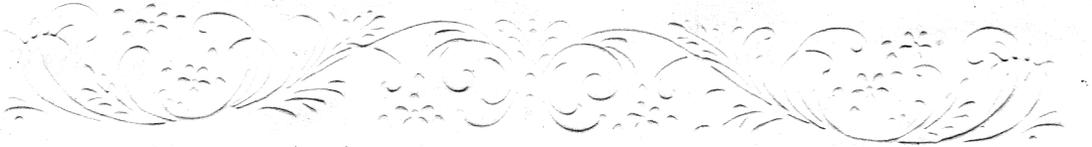
のものに、 感謝の眼で 熟読しました。
今後も 一層の ご使勝と 三十一の年の会のまきまき

ご発展を 祈念してとやません、
行事満見姉によろしく お伝えがま。

望井 三幸様

氏家文記

敬白



11/6

〒411-0044 静岡県三島市徳倉七三四-111
氏 家 文 昭
電話(055)987-1357

社会切手を つらつら 眺めていて
ちよつと ことばを
弄ぶつ まとめた ニ首です。

あたらしき 校舎配する 切手には 山のおもろい 緑柳として
恰好の社会切手の アイディアは やあやあ 会々の 面目躍如